

エコアクション21環境経営レポート

水処理の明日をみつめて



株式会社 メエップ

対象期間 2023年10月1日～2024年9月30日

作成日2024年11月1日

株式会社 メエップ

<https://mep-pump.co.jp/>

目次

1	組織の概要	1
2	対象範囲	2
3	実施体制	3
4	環境経営方針	4
5	環境経営目標（中長期）	5
6	環境経営計画	6
7	環境経営目標の実績	7
8	環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の目標・計画	8
9	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	9
10	代表者による全体の評価と見直し・指示	10

1 組織の概要

事業所名	株式会社メエップ		
代表者名	代表取締役 宮澤 弘光		
所在地	本社:長野県松本市大字笹賀2044-3		
	倉庫:長野県松本市大字島立1836-10		
	長野営業所:長野市篠ノ井小松原1246		
	塩尻営業所:長野県塩尻市広丘野村2054-2(無人)		
	山梨営業所:山梨県甲府市徳行5丁目11-36 アヴェニール102号		
設 立	1991年12月 12日		
資本金	2,000万円	従業員数	24名
売上高	81,846万円(2023年9月30日現在)		
関連会社	有限会社 メエップ保守サービス		
事業内容	機械器具設置工事業【農業・河川・上下水道関連(揚排水機設備、取水排水設備、取水口除塵設備、マンホールポンプ設備)・噴水設備】設置及び保守点検		
主要取引先	株式会社クボタ(特約店契約) 長野県(松本市・安曇野市・佐久市・小諸市・軽井沢町・諏訪市・木曽町等) 山梨県(甲府市・甲州市・甲斐市・北杜市・韮崎市・中央市・南アルプス市等)		
環境管理責任者	河内宏昭		
エコアクション21事務局	村上和幸 海老原明日香		

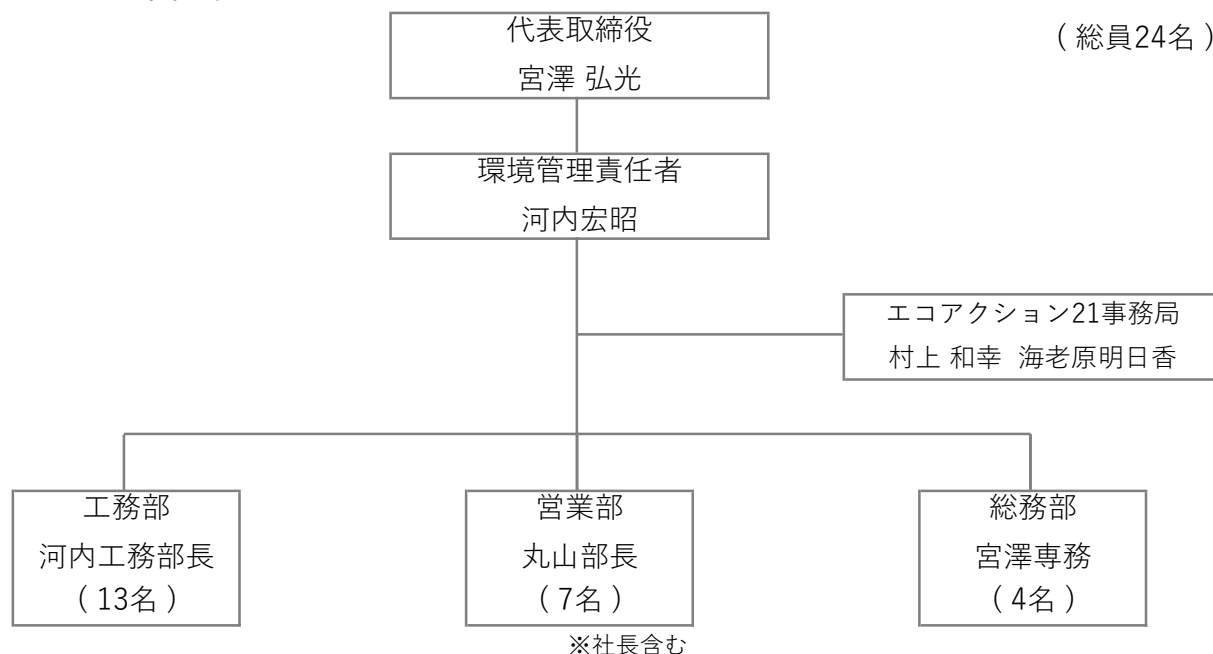
建設許可

管轄	業の種類	有効年月日	許可の種類	許可番号
関東地方整備局	一般建設業	令和11年9月20日	国土交通大臣許可(般-1)	第18346号
有資格者	管工事施工管理技士 : 1級 5名 、 2級 2名			
	土木工事施工管理技士: 1級 5名 、 2級 2名			
	電気工事施工管理技士: 1級 4名			
	電気工事 : 第1種 1名 、 第2種 3名			

2 対象範囲

認証登録範囲	全組織・全活動
事業年度	10月1日～9月30日
対象期間	2023年10月1日～2024年9月30日
レポート発行日	2024年11月1日

3 実施体制



役割・責任・権限

役割・担当者	責任・権限
代表取締役	- 環境経営方針作成 - 環境経営システムの承認 - 環境管理責任者任命 - 計画の承認 - システムの評価と見直しを行い必要な支持を環境管理責任者に行う
環境管理責任者	- 取組の評価 - 環境経営レポートの作成・発行 - 各種報告書の作成 - 苦情処理に対応 - 環境経営目標及び環境経営計画等管理の責任者 - 運用状況の監査・結果を代表取締役に報告
エコアクション21事務局	- 環境活動データ収集と実績まとめ - 外部からの問い合わせに対応 - 条例、法令を管理する - 緊急時への対応を指示 - 是正、予防措置を検討 - 環境負荷と原因となる活動を特定する - 全体の評価と見直し、環境負荷及び取組の自己チェックの実施 - 環境経営方針、環境経営目標と環境経営計画の立案、全社員への周知・教育と訓練
総務部 宮澤専務	- 経営資源の準備 - 事務管理
従業員	- 環境管理責任者の指示に基づき行動する - 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動参加

4 環境経営方針

基本理念

当社は、水と緑豊かな長野県松本市に位置し、この美しい自然を後世に伝えるため地球及び地域社会の環境保全に努めることの重要性を認識し全従業員の英知を結集し、協調と協力により良き企業人として社会へ貢献することを目指し活動する

行動指針

当社は、一般建築業の請け負い会社として、環境保全を重要課題の一つとして認識し、生産活動によって生ずる、「エネルギーの使用」「廃棄物の排出」の削減に向け以下の方針を制定し環境保全活動に取り組んでいきます。

- 1 事業活動によって生ずる環境影響を評価・把握し、環境目的目標を定め、環境変化に応じ見直しを行うと共に、環境保全の継続的改善及び汚染の防止に全社を挙げて努めます。
- 2 環境に関する法律・規制・協定・その他の要求事項を遵守し、環境保全の向上に努めます。
- 3 社内環境教育を行い、全従業員の環境方針に対する理解と環境保全意識の向上に努めます。
- 4 地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の環境保全に積極的に協力します。
- 5 環境経営方針は、外部からの要請に応じ公開します。

作成日 2022年9月10日

株式会社メエップ

代表取締役 宮澤 弘光

5 環境経営目標（中長期）

10月～9月

項 目		単 位	基準値(2022年)	2023年目標	2024年目標	2025年目標
二 酸 化 炭 素 削 減	C O 2 排出量	kg-CO2	78,431	77647	76,862	76,078
		(%)	100%	99%	98%	97%
	電力	kWh	14,217	14075	13,933	13,790
	ガソリン	ℓ	20,157	19955	19,754	19,552
	軽油	ℓ	7,386	7312	7,238	7,164
	灯油	ℓ	2,887	2858	2,829	2,800
	都市ガス	m³	22.0	22	22	21
	LPG	k g	22.00	22	21.56	21.34
	一般廃棄物	k g	180	178	176	175
	産業廃棄物	k g	3,027	2997	2,966	2,936
	水使用量	m³	118	117	116	114
	不良の低減	件	0	0	0	0
	社会貢献活動	回	1	1	1	1

中部電力(株) 2021年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.388kg-CO2/kWhを使用

6 環境経営計画

取組項目	工務部	営業部	総務部	取組内容と計画
電力による二酸化炭素排出量の削減				
・ 冷暖房機器使用時間、空調温度適正化 ・ エアコンフィルターの定期的清掃 ・ 不要照明のスイッチオフ ・ 昼休みの消灯 ・ 未使用・非稼働設備の電源オフ ・ 省エネ機器への入れ替え	○	○	○	「ムダをなくす」ことを基本に取り組む。6か月ごとに電力使用量の実績値前年度と比較し評価する。工務部・営業部・総務部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減				
・ アイドリングストップ ・ 急発進、急ブレーキの抑制・制限速度の厳守 ・ 各車両の走行距離、使用燃料の管理 ・ 省エネタイプの車両への入れ替え	○	○	○	各車両毎に6か月ごとに燃料使用量の実績値を前年度と比較し評価する。工務部・営業部・総務部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
一般廃棄物の削減				
・ 廃棄物分別の徹底 ・ 裏紙の再利用 ・ 用紙はシュレッダー処理し再生に回す ・ ペットボトル・アルミ缶の再利用	○	○	○	年1回廃棄物の実績値を前年度と比較し評価する。工務部・営業部・総務部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
産業廃棄物の削減（資源化率向上）				
・ 廃棄物分別の徹底 ・ 古紙・段ボールのリサイクル ・ 鋼材(鉄・ステンレス)のリサイクル ・ ケーブル類(銅)のリサイクル ・ 建設発生材（Co殻・As殻）のリサイクル ・ 廃油のリサイクル ・ 個人による木屑の再利用	○	○	○	年1回廃棄物の実績値を前年度と比較し評価する。工務部、営業部、管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
節水				
・ 洗浄工程の改善（ムダの排除） ・ 手洗い水量の適正化（ムダの排除） ・ 各水道、トイレに節水の文字貼付	○	○	○	年1回水使用量の実績値を前年度と比較し評価する。工務部・営業部・総務部の管理責任者はその結果を踏まえ従業員に取組の再確認と徹底を促す。
不良の低減				
・ 手直し工事発生ゼロ	○	—	—	工事進捗に合わせて設計図書との照合の徹底

7 環境経営目標の実績

10月～9月

項 目		単 位	基準値(2022年)	2023年目標	2023年実績
二 酸 化 炭 素 削 減	C O 2 排出量	kg-CO2	78,431	77647	94,590
		(%)	100%	99%	100%
	電力	kWh	14,217	14075	30,911
	ガソリン	ℓ	20,157	19955	21,431
	軽油	ℓ	7,386	7312	12,254
	灯油	ℓ	2,887	2858	289
	都市ガス	m ³	22.0	22	7
	LPG	k g	22.00	22	174.00
	一般廃棄物	k g	180	178	216
	産業廃棄物	k g	3,027	2997	7,333
	水使用量	m ³	118	117	234
	不良の低減	件	0	0	0
	社会貢献活動	回	0	1	1

8 環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の目標・計画

評価 ◎十分出来た ○ほぼ出来た △不十分

取組項目	工務部	営業部	総務部	取組内容と計画
電力による二酸化炭素排出量の削減				
・ 冷暖房機器使用時間、空調温度適正化 ・ エアコンフィルターの定期的清掃 ・ 不要照明のスイッチオフ ・ 昼休みの消灯 ・ 未使用・非稼働設備の電源オフ ・ 省エネ機器への入れ替え	○	○	○	今年度の取組を継続する。非稼働設備の電源OFFを徹底する。
	○		○	エアー漏れするエアーツールの点検整備があまり実施出来なかった。
	○		○	使用しないエアーツールの取り外しは徹底出来た。
目標値の見直し				4.環境目標参照：変更せず、次年度も継続する。
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減				
・ アイドリングストップ ・ 急発進、急ブレーキの抑制・制限速度の厳守 ・ 各車両の走行距離、使用燃料の管理 ・ 省エネタイプの車両への入れ替え	○		○	今年度の取組を継続する。
	○		○	工場間のシャッターの開閉回数を減らせなく冷気の漏れが多かった。
	△		△	
	○		○	
目標値の見直し				4.環境目標参照：変更せず、次年度も継続する。
一般廃棄物の削減				
・ 廃棄物分別の徹底 ・ 裏紙の再利用 ・ 用紙はシュレッダー処理し再生に回す ・ ペットボトル・アルミ缶の再利用	○		○	今年度の取組を継続する。
	○		○	廃棄物の分別をしっかりとリサイクル量を増やす。
	○		○	家庭ごみの持ち帰りを推進する。
	○		○	
産業廃棄物の削減				
・ 廃棄物分別の徹底 ・ 古紙・段ボールのリサイクル ・ 鋼材(鉄・ステンレス)のリサイクル ・ ケーブル類(銅)のリサイクル ・ 建設発生材 (Co殻・As殻) のリサイクル ・ 廃油のリサイクル ・ 個人による木屑の再利用	○		○	今年度の取組を継続する。産業廃棄物は実績値を継続的に記録し、3年程度の実績を踏まえ目標値の見直しなども検討する。
	○		○	
	○	—	—	
	○	—	—	
	○	—	—	
	○	—	—	
	○	—	—	
目標値の見直し				
節水				
・ 洗浄工程の改善 (ムダの排除) ・ 手洗い水量の適正化 (ムダの排除) ・ 各水道、トイレに節水の文字貼付	○		○	今年度の取組を継続する。
	○		○	
不良の低減				
・ 手直し工事発生ゼロ	○		○	前年度より減少できた。
社会貢献				
・ 地域の清掃活動を実施	○		○	今年度の取組を継続する。

9 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

遵守確認：2024年10月1日

区分	関連法規制等		条項の内容	適合状況
	法規制名	条項		
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。	○
		第12条の3	運搬・処分を委託する場合産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）を交付する。	○
		第12条の6	管理票の写しの送付を受けたときは、当該運搬又は処分が終了したことを当該管理票の写しにより確認し、かつ、当該管理票の写しを当該送付を受けた日から環境省令で定める期間保存しなければならない。	○
騒音	騒音規制法	第6条	騒音特定施設の設置の届出（設置の工事の開始の日の30日前まで）	○
振動	振動規制法	第6条	振動特定施設の設置の届出（設置の工事の開始の日の30日前まで）	○
危険物	消防法	第10条	指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外の場所で貯蔵、又は取り扱ってはならない。	○

自治体条例関係

松本広域連合火災予防条例	第31条	指定数量未満（0.2以上1.0未満）の危険物の貯蔵及び取り扱いの基準の遵守	○
松本市環境基本条例	第5条	事業者は、基本理念に基づき、事業活動に伴い生ずる公害を防止し、及び廃棄物を適正に処理するとともに、自然環境を適正に保全するため必要な措置を講じなければならない。	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、ありませんでした。

10 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日：2024年10月1日

取組項目別の評価とコメント	
1 環境目標とその達成状況	今までの実績データ等を加味し2022年度を基準に取組む。 - 未達成項目有（電気使用量、ガソリン使用量など） - 設定に問題 有 ・ ☒ 無 （毎月の個別案件ごとの実績値の記録を継続し必要に応じ見直す） CO2総非出量は基準の2022年度に比べ約1%の削減であった。しかし今春、コロナ禍の影響期より売上高が減少したこともあり、売上高当たりの原単位では悪化した。電気使用量の増加は工場に導入した空調設備の稼働が高かったためと思われる。今後空調機器のスイッチ管理や温度管理に注意したい。
2 環境活動計画の実施状況	- 取組に問題 有 ・ ☒ 無 - 次年度の取組 継続
3 環境関連法規の見直し・遵守状況	- 見直し 有 ・ ☒ 無 - 遵守状況 良好
代表者による変更の必要性の判断・指示	
総論 環境負荷削減活動の基本はPDCAをうまく回すことです。 目標に対する実績値の達成度を確認し、次に向けての改善対応を確実に打てるよう活取組を定着させてください。	
評価結果	
1 環境経営システム	有効に機能している ・ 機能していない
2 環境への取組	☒ 適切 ・ 一部適切ではない
変更判断・指示	
1 環境経営方針の変更 有 ・ ☒ 無	2 環境目標の変更（2022年度以降の目標を今回設定）
3 活動計画の変更 有 ・ ☒ 無	4 実施体制の変更 有 ・ ☒ 無
コメント 継続的な改善に注力し、必要に応じ臨機応変に対応する。	
社長の指示	
コロナ禍の影響もあり、生産量の不安定な時期が続きますが基本に立ち返り、ムダ、ムリ、ムラの削減を通じ生産性が向上するよう個々の活動を見直し、レプルアップを図ってください。	

株式会社 メエップ

<https://mep-pump.co.jp/>

本社

〒399-0033

長野県松本市大字笹賀2044-3

TEL(0263) 87-7505 FAX(0263) 87-8550